

第 89 期 報 告 書

H24・04・01▶H25・03・31

株式会社 **よみうりランド**

証券コード9671

ホワイトキューブ館
(平成24年10月オープン)

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループ第89期（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の事業の概況を取りまとめましたので、ここに本報告書をお届け申し上げます。

平成25年6月

代表取締役社長

関根達雄



営業の概況

01

事業の経過及びその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、世界経済の減速等を背景に弱い動きとなっておりますが、新政権発足後は景気回復への期待を先取りする形で、円高の是正や株価の回復など持ち直しの動きがみられました。景気の先行きも、回復へ向かうことが期待されますが、世界経済や雇用環境等の状況によっては下振れするリスクがあります。

当社グループの関連する業界に影響する個人消費は、消費者マインドが改善し、持ち直しの動きがみられるものの、依然緩やかなデフレ状況にあり、厳しい環境が続いております。

このような状況の下、当社は10月に遊園地の隣接地に親子で楽しめる子供向け屋内遊戯施設「キドキド」や、キッズアンドファミリーをコンセプトとしたピザレストラン「シェーキーズ」をオープンするなど、他施設との差別化を図っていくための独自の企画や、顧客満足度の一層の向上に努めてまいりました。

遊園地部門の遊園地は、ゴールデンウィークの「全国ご当地グルメ祭2012」、11月から翌年2月にかけては、前年より一層規模を拡大したイルミネーションイベント「ジュエルミネーション」などを開催し多くのお客様から好評を得た結果、平成に入ってから最高となる来園者を記録いたしました。夏のプールWAIは、数年来取り組んでいるエンターテインメントプール化が実を結び、開場以来最高となる入場者を記録いたしました。また、公営競技部門の川崎競馬場では、6年ぶりとなるダート競馬の祭典「JBC競走」が開催され盛り上がりを見せました。さらに、不動産事業におきまして、4月より京王よみうりランド駅前に寄宿舎「ドーミー京王よみうりランド」がオープンし、運営会社に賃貸を開始いたしました。

この結果、当連結会計年度における売上高は168億3千6百万円（前期比8.6%増）、営業利益は29億5千3百万円（同47.1%増）、経常利益は33億7百万円（同52.7%増）となりましたが、当社及び連結子会社が保有するゴルフ場（静岡よみうりカントリークラブ）等の固定資産について減損損失（特別損失）41億7千2

百万円を計上したため、28億4千3百万円の当期純損失（前連結会計年度は12億5千3百万円の当期純利益）となりました。

対処すべき課題

今後のわが国経済は、景気回復が期待される一方で、雇用・所得環境が伸び悩んだ場合によるデフレの継続が懸念され、個人消費はいわゆる「多極化」の進行が予測されております。

このような状況の下、当社グループは、所有地を効率的に活用し、新たな収益構造の確立と他社施設との差別化を図り、一層強固な経営基盤を築いてまいります。

川崎競馬場におきましては、現在閉鎖中の3号スタンドを解体し、跡地に商業施設を建設いたします。365日いつでも「競馬観戦、ショッピング、飲食」が同時に可能となる、他に類をみないレジャーエリアを計画いたしております。平成27年夏頃に開業し、当社は運営会社に賃貸する予定であります。

船橋競馬場におきましては、平成25年5月にメインとなる新投票所をオープンし、快適に競馬観戦ができる環境を提供いたしました。また、平成26年夏頃に駐車場の一面にスーパーマーケットを建設し、事業会社へ賃貸する予定であります。

東京よみうりカントリークラブにおきましては、平成26年に迎える開場50周年の記念事業の一環として、ベントグリーンを全面的に改修いたします。耐暑性に優れた新種のベント芝に張り替え、平成26年10月の完成を予定いたしております。また、引き続き、ゴルフ四場で連携し、質の高いコースコンディションの維持とサービスの提供を図るとともに、外部営業などの集客活動を強化し、顧客獲得に努めてまいります。

遊園地におきましては、営業を終えた木造コースター「ホホワイトキャニオン」の跡地に、平成26年春、新ホールをオープンする予定です。1,000人収容のホールとアシカショー用のプールを併設した日本初のホールで、キャラクターショーや音楽ライブなども企画してまいります。なお、新ホールオープンに伴い、オープンシアターEASTは平成25年5月をもって閉鎖いたしました。同じく平成26年春には、新たなジェットコースターを設置し、営業する予定であります。1台4人乗りの車両がスクリュー回転したり、90度落下したりするなどして木立の中を疾走する日本初のコースターになります。また、冬の風物詩として定着したイルミネーションイベント「ジュエルミネーション」をより一層集客できるイベントとして充実させてまいります。さらに、温浴施設「丘の湯」や子供向け屋内遊戯施設「キドキド」などの周辺施設との連携を密にして、遊園地部門全体で相乗効果を図り、売上向上を目指してまいります。

その他、新たな事業展開として、太陽光発電事業にも取り組んでまいります。船橋競馬場の馬場内及び静岡県掛川市の社有地に発電所を建設し、平成25年秋より運転を開始して電力会社へ売電いたします。再生可能エネルギーの普及促進に努め、環境負荷低減を図ることで社会に貢献してまいります。

今後とも当社グループは、国内でも特色のある総合レジャー・サービス事業会社として、永年に亘り培われたノウハウとブランドイメージに裏打ちされた様々な経営資源に基づき、持続的な企業価値の向上を目指し成長、進化していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

セグメント別の概況

総合レジャー事業

公営競技部門

川崎競馬は、前期比2日増の64日開催されました。重賞競走は12月の「全日本2歳優駿」、1月の「川崎記念」のほか、11月に川崎競馬では6年ぶりとなるダート競馬の祭典「JBC競走」が開催されました。この開催に伴い、近隣商業施設とコラボレーションしたイベント「小さなおうまフェスタ」、グルメイベント「馬いもんまつり」、招待馬房の増築や特別観覧席の改修などを実施し開催を盛り上げました。さらに、10月よりJRAのインターネット投票「IPAT」でも地方競馬のビッグレースを中心に勝馬投票券の購入が可能になったことなどにより、投票券総売上高は増加いたしました。なお、南関東の他場開催（船橋・大井・浦和）の場外発売は、前期比6日増の205日の実施となりました。また、JRAの場外発売「ウインズ川崎」は、通年営業され107日実施されました。引き続き多くのファンが訪れ、好調に推移いたしております。

船橋競馬は、前期比6日増の54日開催されました。重賞競走は5月のビッグレース「かしわ記念」、9月の「日本テレビ盃」が開催されました。「かしわ記念」開催日には、近隣商業施設とコラボレーションしたイベント「おうまフェス2012～親子であそぼ。～」を主催したほか、グルメイベント「うまいもの祭り」を開催し賑わいを見せました。また、10月から川崎競馬と同様に「IPAT」による発売が開始されたことや、開催日数が増加したことなどにより、投票券総売上高は増加いたしました。また、他場開催（川崎・大井・浦和）の場外発売は、前期比6日増の215日の実施となりました。

船橋オートレースは、前期比5日増の69日開催されました。5月には恒例のGI「黒潮杯」、2月にはSG「全日本選抜」が4年ぶりに開催されました。ビッグレース開催時には、飲食を中心としたイベントを展開し、来場者から好評を得ました。また、12月には、「サテライト船橋」と連携し、オートレース選手と競輪選手のコラボレーションイベントなどを実施し、開催を盛り上げました。しかしながら、入場者及び一人当たりの購買金額が落ち込んだことにより、投票券総売上高は減少いたしました。なお、小型自動車競走法の一部改正に伴い、6月の本場開催よりの中車券の払戻率が75%から70%となりました。また、他場開催の場外発売は、前期比2日増の266日実施されました。

競輪場外車券売場「サテライト船橋」での発売は、前期比2日増の361日実施されました。47年ぶりに復活した女子競輪「ガールズケイリン」にちなんだ応援企画などを実施し好評を博しました。しかしながら、入場者及び一人当たりの購買金額が落ち込んだことにより、投票券売上高は減少いたしました。

以上の結果、公営競技部門の売上高は44億1千万円（前期比15.9%増）となりました。

ゴルフ部門

東京よみうりカントリークラブは、引き続きチャンピオンコースとしてのコース維持を行いました。猛暑の影響による夏期の予約の伸び悩みや、積雪によるクローズ日数の増加などがあったものの、積極的な外部営業による新規コンペ獲得などに努めた結果、入場者は前年並みに推移いたしました。また、11月末から12月にかけて開催された「ゴルフ日本シリーズ」Tカップは、前年を上回る入場者で賑わいました。

よみうりゴルフ倶楽部は、7月より8年ぶりに乗用カートの入れ替えを実施いたしました。従来型より走行時の安定性、快適性が向上し、プレーヤーより好評を博しております。営業面では、年間を通じて多彩な自主コンペを開催したことや、会員向けに各種優待施策を実施したほか、引き続き外部営業の強化に努めました。これらの結果、積雪によりクローズ日数は増加したものの、震災後で法人利用が自粛された前年に比べると、入場者は増加いたしました。なお、レストランにて、遊園地のイベント「はたるの宵」や「ジュエルミネーション」と連携した恒例のディナーイベントを開催し、好評を博しました。

静岡よみうりカントリークラブは、4月に新東名高速道路が開通しアクセスが向上いたしました。これを記念したネット予約による特別料金プランを設定し、好評を博しました。また、予約が少ない日に大会を誘致するなどしたほか、季節ごとにきめ細かく料金を設定するなど、タイムリーなイベントや施策が奏功し、入場者は増加いたしました。

千葉よみうりカントリークラブは、4月に10年ぶりに乗用カートをリニューアルいたしました。新カートは、乗り心地も向上しプレーヤーから好評を博しております。営業面では、定番となった来場者へのスクラッチカード配布イベント「けずってゴルフ」をはじめ、季節やプレーヤー属性ごとに様々な優待施策を実施いたしました。しかしながら、オフシーズンの伸び悩みや積雪によるクローズ日数の増加などにより、入場者は減少いたしました。

以上の結果、ゴルフ部門の売上高は29億1千2百万円（前期比1.2%増）となりました。

遊園地部門

遊園地部門の遊園地では、年間を通じて多彩なイベントを開催してまいりました。春に桜をテーマにした新イベント「SAKURAKUEN」、ゴールデンウィークには昨年に続き「全国ご当地グルメ祭2012」を開催し、ともに活況を呈しました。また、恒例となりました「ほたるの宵」や夏期の「スプラッシュバンデット」は新たな趣向を取り入れ集客を図りました。11月からは3年目となる世界的照明デザイナー石井幹子氏監修のイルミネーションイベント「ジュエルミネーション」を開催いたしました。本年は、球数を150万球に増やし、新たにプールWAIを「アクアエリア」として拡張し、お客様の満足度の向上を図るとともに、テレビCMをはじめ各種宣伝活動を強化いたしました。さらに、卒業遠足やジュエルミネーションのバスツアーなど団体集客にも力を入れました。また、3月には「コーヒーカップ」をケーキの形にデザインした「スイーツカップ」や、ヒーローになるために能力を鍛える参加型体験アトラクション「ヒーロートレーニングセンター“ミッション8”」などの新遊戯機を導入いたしました。これらの結果、平成に入ってから最高となる来園者を記録いたしました。

夏のプールWAIは、引き続きエンターテインメントプールとして多くのイベントを開催いたしました。音楽・ダンス・放水を融合した「ダンススプラッシュ」などのイベントをさらに充実させるとともに、有名から揚げ店の新規出店や、ビアガーデンの拡張などを行いました。また、これらのイベントが多くのお客様に紹介されたことなどが奏功し、開場以来最高となる入場者を記録いたしました。

温浴施設「丘の湯」は、遊園地やプールからのお客様が増加したことや、季節ごとのイベントを充実させるとともに、丘の湯プラザのリニューアル効果も相まって、入場者は増加いたしました。温浴施設「季乃彩」は、入場者は微減となりましたが、様々なイベントを実施したことなどにより、営業成績は安定的に推移いたしております。

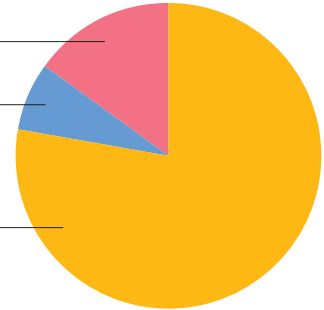
ゴルフガーデン（練習場）は、平日の打ち放題が好評だったものの、夏期の猛暑や冬期の積雪によるクローズの影響により、入場者は減少いたしました。

10月より新規オープンいたしました子供向け屋内遊戯施設「キドキド」は、来場者の滞在時間が長く、また雨天時にも多くのお客様を集めるなど、好調な滑り出しを見せております。

以上の結果、遊園地部門の売上高は36億8千6百万円（前期比16.2%増）となりました。

販売部門

遊園地が、ご当地グルメをはじめ、年間を通じて食に関するイベントを実施し、増収に貢献したほか、丘の湯プラザ内のベーカリーショップ「ポラリス」の通期稼働や、ピザレストラン「シェーキーズ」の新規オープンなどにより、販売部門の売上高は30億4千3百万円（前期比12.7%増）となりました。



● 総合レジャー事業

総合レジャー事業全体の売上高は、その他の収入も含め、148億2千3百万円（前期比11.3%増）、営業利益は35億4千5百万円（同39.7%増）となりました。

売上高 **14,823**百万円
構成比 **77.9%**

● 不動産事業

不動産事業の売上高は、寄宿舍「ドーミー京王よみうりランド」からの収入が加わったものの、販売用宅地の分譲が減少したことなどにより、13億7千8百万円（前期比7.8%減）となり、営業利益は7億6千9百万円（同4.6%減）となりました。

売上高 **1,378**百万円
構成比 **7.2%**

● サポートサービス事業

サポートサービス事業の売上高は、川崎競馬場「JBC競走」関連工事の受注があったことなどにより、28億3千1百万円（前期比35.2%増）、営業利益は1億3千8百万円（同25.3%増）となりました。

売上高 **2,831**百万円
構成比 **14.9%**

財務諸表〔連結〕

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当連結会計年度末 平成25年3月31日現在	前連結会計年度末 平成24年3月31日現在	比較増減		当連結会計年度末 平成25年3月31日現在	前連結会計年度末 平成24年3月31日現在	比較増減
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	5,982	7,629	△ 1,647	流動負債	6,318	7,523	△ 1,204
現金及び預金	4,558	6,166	△ 1,607	営業未払金	499	408	90
受取手形及び売掛金	891	972	△ 80	短期借入金	970	3,065	△ 2,095
商 品	35	31	3	1年内返済予定の長期借入金	1,325	1,526	△ 201
販売用不動産	165	168	△ 2	未払法人税等	777	462	314
未成工事支出金	5	11	△ 5	賞与引当金	123	116	7
貯 蔵 品	12	13	△ 0	そ の 他	2,622	1,943	679
繰延税金資産	167	144	23	固定負債	25,754	27,027	△ 1,272
そ の 他	146	123	23	長期借入金	433	1,758	△ 1,325
貸倒引当金	△ 0	△ 0	△ 0	繰延税金負債	1,048	997	51
固定資産	42,589	45,894	△ 3,305	退職給付引当金	578	591	△ 13
有形固定資産	32,955	36,946	△ 3,990	役員退職慰労引当金	116	103	12
建物及び構築物	17,306	18,022	△ 715	資産除去債務	197	195	2
機械装置及び運搬具	453	431	22	長期預り金	23,232	23,293	△ 61
工具、器具及び備品	335	251	84	そ の 他	147	87	60
土 地	14,180	17,884	△ 3,704	負債合計	32,072	34,550	△ 2,477
リース資産	122	82	40	(純資産の部)			
建設仮勘定	556	274	281	株主資本	14,311	17,501	△ 3,190
無形固定資産	97	83	13	資本金	6,053	6,053	—
そ の 他	97	83	13	資本剰余金	4,730	4,730	△ 0
投資その他の資産	9,535	8,864	671	利益剰余金	5,438	8,478	△ 3,039
投資有価証券	9,151	8,052	1,098	自己株式	△ 1,910	△ 1,760	△ 150
繰延税金資産	171	575	△ 404	その他の包括利益累計額	2,187	1,472	715
そ の 他	212	235	△ 23	その他有価証券評価差額金	2,187	1,472	715
資産合計	48,571	53,524	△ 4,953	純資産合計	16,498	18,974	△ 2,475
				負債純資産合計	48,571	53,524	△ 4,953

Consolidated Financial Statements

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	比較増減
売上高	16,836	15,499	1,337
売上原価	12,215	11,900	314
売上総利益	4,621	3,599	1,022
販売費及び一般管理費	1,668	1,592	76
営業利益	2,953	2,007	945
営業外収益	407	239	168
受取利息	0	1	△ 0
受取配当金	173	173	0
保険戻金	3	5	△ 2
建設発生土受入金	187	—	187
その他	41	59	△ 17
営業外費用	53	80	△ 27
支払利息	52	80	△ 27
その他	0	0	△ 0
経常利益	3,307	2,166	1,141
特別利益	1	100	△ 98
固定資産売却益	1	—	1
受取補償金	—	100	△ 100
特別損失	4,972	276	4,696
固定資産除却損	789	206	583
災害による損失	10	17	△ 6
減損損失	4,172	52	4,120
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△ 1,664	1,989	△ 3,653
法人税、住民税及び事業税	1,131	792	338
法人税等調整額	48	△ 55	104
法人税等合計	1,179	736	443
少数株主損益調整前当期純利益又は 少数株主損益調整前当期純損失(△)	△ 2,843	1,253	△ 4,097
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 2,843	1,253	△ 4,097

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

	当連結会計年度 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,406	2,859
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,015	△ 1,090
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,009	△ 1,808
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,617	△ 39
現金及び現金同等物の期首残高	6,020	6,060
現金及び現金同等物の期末残高	4,402	6,020

連結株主資本等変動計算書

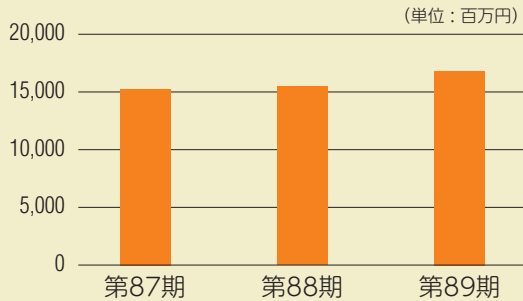
当連結会計年度 (平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位：百万円)

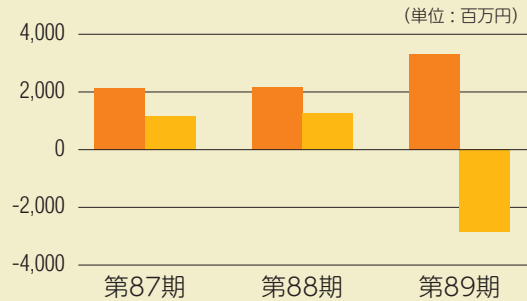
	株主資本				
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計
当期首残高	6,053	4,730	8,478	△ 1,760	17,501
当期変動額					
剰余金の配当			△ 196		△ 196
当期純損失			△ 2,843		△ 2,843
自己株式の取得				△ 151	△ 151
自己株式の処分		△ 0		0	0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△ 0	△ 3,039	△ 150	△ 3,190
当期末残高	6,053	4,730	5,438	△ 1,910	14,311
	その他の包括利益累計額			純資産 合計	
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	1,472	1,472		18,974	
当期変動額					
剰余金の配当				△ 196	
当期純損失				△ 2,843	
自己株式の取得				△ 151	
自己株式の処分				0	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	715	715		715	
当期変動額合計	715	715		△ 2,475	
当期末残高	2,187	2,187		16,498	

業績ハイライト [連結]

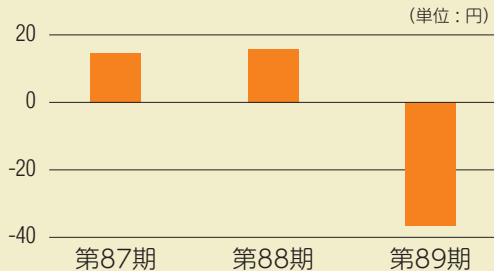
● 売上高



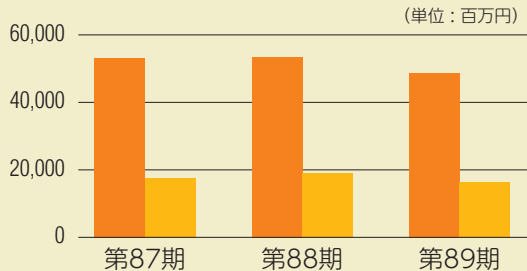
● 経常利益／当期純利益又は当期純損失



● 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失



● 総資産／純資産



07

	第87期	第88期	第89期
	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで	平成23年4月1日から平成24年3月31日まで	平成24年4月1日から平成25年3月31日まで
売上高 (百万円)	15,258	15,499	16,836
経常利益 (百万円)	2,115	2,166	3,307
当期純利益又は当期純損失(△) (百万円)	1,175	1,253	△2,843
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△) (円)	14.72	15.91	△36.52
総資産 (百万円)	53,181	53,524	48,571
純資産 (百万円)	17,626	18,974	16,498

(注) 第89期(当連結会計年度)における当期純損失及び1株当たり当期純損失は、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損損失を計上したこと等によるものであります。

トピックス

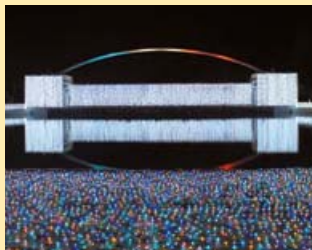
◆遊園地は平成に入ってから最高となる来園者を記録 プールWAIは開場以来最高となる入場者を記録

遊園地は、ゴールデンウィークの「全国ご当地グルメ祭2012」、11月から翌年2月にかけては、前年より一層規模を拡大したイルミネーションイベント「ジュエルミネーション」などを開催し多くのお客様からご好評をいただきました。

また、夏のプールWAIは、数年来取り組んでいるエンターテイメントプール化が実を結びました。



▲ダンスブラッシュ（プールWAI）



▲ジュエルミネーション（アクアエリア）

◆乗用カートリニューアル（よみうりゴルフ倶楽部・千葉よみうりカントリークラブ）

よみうりゴルフ倶楽部は、平成24年7月に8年ぶり、千葉よみうりカントリークラブは、平成24年4月に10年ぶりに乗用カートをリニューアルいたしました。



▲よみうりゴルフ倶楽部



▲千葉よみうりカントリークラブ

◆リーダーズボード （千葉よみうりカントリークラブ）

リーダーズボードは仲間同士、別組でもリアルタイムでスコアが確認できる機能がついています。



◆遊園地に新アトラクション

平成25年3月16日に「コーヒークップ」をケーキの形にデザインした「スイーツカップ」や、ヒーローになるために能力を鍛える参加型体験アトラクション「ヒーロートレーニングセンター“ミッション8”」など新遊戯機を導入いたしました。



◆川崎競馬場でダート競馬の祭典 JBC競走を開催

平成24年11月5日にJBC競走が開催され、近隣商業施設とコラボレーションしたイベントやグルメイベントを実施し開催を盛り上げました。



▲近隣商業施設とコラボイベント
小さなおうちまつり



▲グルメイベント馬いもんまつり

Shareholders' Information

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年の3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会の議決権 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
全国の各支店で行っております。
- 公告の方法 電子公告により行います。なお、以下の
ホームページアドレスにてご覧いただけ
ます。
<http://www.yomiuriland.co.jp/ir/index.html>
ただし、事故その他、やむを得ない事
由によって電子公告による公告をする
ことができない場合は、東京都において
発行する読売新聞に掲載して行います。

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先につ
いて
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設された
株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行
株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出
ください。
- 「配当金計算書」について
配当金支払いの際、送付している「配当金計算書」は、租税
特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。
確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただく
ことができます。
※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

09

株主優待

当社では、権利確定日に株主名簿に記録されている株主様を対象として、株主ご優待を実施しております。

権利確定日	9月30日(中間)	3月31日(期末)
発行時期	12月	6月
有効期間	1~6月	7~12月

● 招待内容

遊園地・プールWAI招待券綴	株主入場パス
1冊の内容	各場共通パス
★遊園地入園 5枚	☆川崎競馬場
★のりもの・アスカショー券綴 1枚 園内で「のりもの3回、アスカショー1回」がセットになった クーポン券5枚とお引き換えいたします。	☆船橋競馬場
★ゴンドラ乗車 2枚(10回分)	
★プールWAI入場 5枚(※期末発行分のみ)	

※船橋オートレース場は、平成25年4月より入場料が無料となりました。

Shareholders' Hospitality

● 発行基準

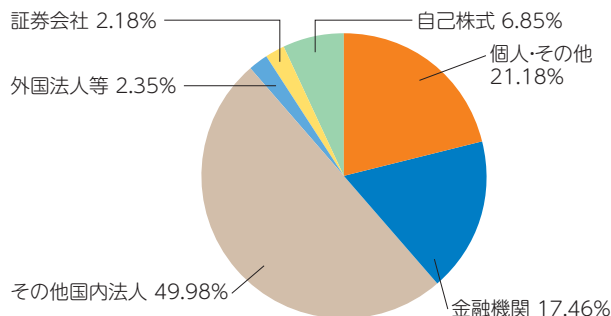
ご所有株数	遊園地・プールWAI招待券綴	株主入場パス
1,000株以上	1冊	2枚
5,000株以上	2冊	3枚
10,000株以上	3冊	5枚
50,000株以上	4冊	5枚

※各招待券は休園日等ご利用いただけない日がございます。注意事項と合わせて詳細につきましては、同封の「株主招待券贈呈のご案内」をご参照ください。

※プールWAI入場につきましては、期末発行分のみとなります。

株式の状況 (平成25年3月31日現在)

- 発行可能株式総数…………… 294,196,000株
- 発行済株式総数…………… 77,798,334株
(自己株式5,723,690株を除く)
- 当期末株主数…………… 8,666名
- 所有者別株主比率



●大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社読売新聞グループ本社	12,508	16.07
日本テレビ放送網株式会社	11,242	14.45
株式会社東京ドーム	5,821	7.48
三井住友信託銀行株式会社	3,869	4.97
大成建設株式会社	2,852	3.66
株式会社読売巨人軍	2,014	2.58
京王電鉄株式会社	1,700	2.18
株式会社横浜銀行	1,631	2.09
オリンピア興業株式会社	1,278	1.64
日本生命保険相互会社	1,060	1.36

- (注) 1. 上記以外に当社所有の自己株式5,723千株があります。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
 3. (旧)日本テレビ放送網株式会社(現)日本テレビホールディングス株式会社は、平成24年10月1日、会社分割により、(現)日本テレビ放送網株式会社に対し、当社株式を全部移転しております。

会社の概況

●会社の概要 (平成25年3月31日現在)

商号 株式会社よみうりランド
(英文: YOMIURI LAND CO., LTD.)
 本店所在地 東京都稲城市矢野口4015番地1
 設立 昭和24年9月24日
 資本金 6,053,030,806円
 企業集団の主要な事業内容 総合レジャー事業
 公営競技部門…競馬、オートレース及び競輪の競技場等の施設運営
 ゴルフ部門…ゴルフ場の経営
 遊園地部門…遊園地、ゴルフ練習場、温浴施設等の経営
 販売部門…食堂、売店及びコンビニエンスストアの経営
 不動産事業
 不動産の売買、賃貸
 サポートサービス事業
 建設業、ゴルフ場管理、ビル管理等

●当社の従業員の状況 (平成25年3月31日現在)

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
119名	△66名	41歳11ヶ月	16年11ヶ月

- (注) 1. 従業員数は就業人員(契約社員を除く)であります。
 2. 従業員数が前事業年度末より66名減少しておりますが、これは主として、当事業年度より契約社員(65名)の計上区分を変更し、従業員数に含めないこととしたことによるものであります。

●役員 (平成25年6月20日現在)

代表取締役社長…………… 関 根 達 雄
 常務取締役…………… 小飯塚 稔
 常務取締役…………… 土方 功
 常務取締役…………… 谷 矢 哲 夫
 取締役…………… 天 野 正 明
 取締役…………… 小 山 興 志
 取締役…………… 中 保 章
 社外取締役…………… 渡 邊 恒 雄
 社外取締役…………… 加 藤 奂
 社外取締役…………… 大久保 好 男
 常勤監査役…………… 小 林 利 光
 社外監査役…………… 瀧 邦 久
 社外監査役…………… 児 玉 幸 治
 社外監査役…………… 岡 田 明 重



Topics●

1階

親子で楽しめる子供向け屋内遊戯施設
「キドキド よみうりランド店」



2階

キッズアンドファミリーをコンセプトとしたピザレストラン
「シェーキーズ」



株式会社よみうりランド

〒206-8566

東京都稲城市矢野口4015番地1

TEL 044-966-1131 (総務部総務課)

UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。